

# FITインバランス特例制度①における太陽光・風力発電電力量想定・配分方法について

FITインバランス特例制度①において、一般送配電事業者(当社)が、制度の適用を受ける小売電気事業者※1に通知する太陽光電源・風力電源の発電電力量の想定方法について、電力広域的運営推進機関の送配電業務指針に従い、以下のとおり公表いたします。

※1 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に定める特定契約を締結している小売電気事業者であって、特定契約に基づき受電する電気に係る発電計画の計画値の通知又は確認を受けることを希望する発電契約者

	想定方法
太陽光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象庁の数値予報格子点データ(GSM, MSM)やアメダス気象予報・実況データを入力とし、各地点の日射量を予測・推定する。</li> <li>・各地点の日射量の予測結果と、太陽光設備の連系情報および過去の出力実績値等の蓄積データを組合せ、供給区域全体の太陽光の出力を予測する。</li> <li>・自家消費分は想定値を用いて、出力予測値から差し引く。</li> </ul>
風力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象庁の数値予報格子点データ(GSM, MSM)を入力データとし、風況シミュレーションにより予測対象※2である各風力の発電機設置地点毎に風速を予測する。 ※2予測対象風力の定格出力合計は、供給区域全体の風力の定格出力合計の約90%</li> <li>・風観測データによる予測誤差補正を経て、風力発電機毎に換算した発電出力から予測対象風力の合計出力予測値を算出する。</li> <li>・その後、出力実績データを用い、各種統計モデルによる予測誤差補正を実施し、最終的な予測データを算出する。</li> <li>・予測データ(a)、供給区域全体の風力の定格出力合計(b)、予測対象風力の定格出力合計(c)を用いて、供給区域全体の想定電力量(d)を作成する。(d) = (a) * (b) / (c)</li> </ul>

## <配分の考え方>

一般送配電事業者が想定した供給区域全体の発電電力量を、小売電気事業者の各特例発電BGの購入電力量実績比率(電源種別ごと、3ヶ月前実績※3)で配分

$$\begin{array}{c} \boxed{\begin{array}{c} \text{小売電気事業者の各特例} \\ \text{発電BGに配分する電力量} \\ \left[ \begin{array}{c} \text{電源種別ごと} \\ \text{30分単位} \end{array} \right] \end{array}} = \begin{array}{c} \boxed{\begin{array}{c} \text{供給区域全体の} \\ \text{想定電力量} \\ \left[ \begin{array}{c} \text{電源種別ごと} \\ \text{30分単位} \end{array} \right] \end{array}} \times \frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{小売電気事業者の各特例発電BGの購入電力量} \\ \text{(電源種別ごと、3ヶ月前実績)} \end{array}}}{\boxed{\begin{array}{c} \text{供給区域の全小売電気事業者および全送配電事業者の} \\ \text{購入電力量} \\ \text{(電源種別ごと、3ヶ月前実績)} \end{array}}}
 \end{array}$$

(注) 新規に調達を開始し、3ヶ月前の購入電力量実績がない場合は、同一の電源種別の平均原単位(3ヶ月前実績ベース)に認定出力(kW)を乗じた値を購入電力量(3ヶ月前実績)とみなして、配分電力量を算定する。

$$\begin{array}{c} \left[ \begin{array}{c} \text{平均原単位} \\ \text{電源種別ごと} \end{array} \right] \text{ [kWh/kW]} = \frac{\text{供給区域の全小売電気事業者および全送配電事業者の購入電力量 [kWh]} \\ \text{(電源種別ごと、3ヶ月前実績)}}{\text{供給区域の全認定出力合計 [kW]} \\ \text{(電源種別ごと、3ヶ月前実績)}}
 \end{array}$$

※3 実績集約に要する期間を考慮し、3ヶ月前実績(月間値)を使用。